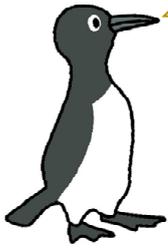


ペンギンじゃないよ!
オロロン鳥
(ウミガラス)だよ

海鳥の楽園と原生の森 道北の癒しの2島を歩く

催行決定



天売島・焼尻島 自然探訪 3日間

日程 6月10日(月)~12日(水)

旅行代金 お一人様 88,000円 (札幌駅発着)
78,000円 (羽幌発着)



海鳥観察舎から見渡す断崖海岸(天売島)

- 食 事/朝 2・昼 0・夕 2 ●札幌駅より全行程ツアーリーダー同行
- 宿 泊/天売島:萬谷旅館 焼尻島:布目旅館 または各地同等クラス
- 最少催行人数 4名(最大 8名)
- 基本 2~4名様 1室 ※お一人部屋利用の設定はありません

暫定行程表

	地名	行程	食事
6/10 (月)	札幌駅 羽幌 羽幌港 天売島 OP/天売島1周クルーズ または 花鳥の径フットパス ウトウ帰巣ツアー	札幌駅 BT 8:00 発 = 〈都市間バス〉 = 羽幌 BT 11:12 着 = 羽幌港 羽幌港 11:40 発 ~ 〈高速船〉 ~ 天売島 12:40 着 ※昼食は船の中でお済ませ下さい。 着後、宿に荷物を預け、夕食までフリータイム。 ●オプション/天売島1周クルーズ(13:30~15:00)~断崖が迫る島の海岸線を小型船に乗って一周。海鳥繁殖地付近の岩場にも。要事前申込・料金別途。 ●フットパスを自由散策/海の宇宙館(ビジターセンター。島の予備知識を学んでスタート)・・・花鳥の径フットパス・・・ノゴマ館・・・宿 ●歩程:約1時間30分 夕食後(夕食前になる場合も有ります)、ウトウの帰巣ツアーへ。天売島は世界最大のウトウの繁殖地です。約80万羽ものウトウが魚をくわえて一斉に帰巣する光景は圧巻。それをウミネコが横取りしようと待ち構えており、大自然の壮大な営みに感動してしまいます。 【天売島・泊】	— — 夕
6/11 (火)	天売島 天売島一周 ウォーキング 天売島 焼尻島	天売島一周ウォーキング/宿・・・黒崎海岸(ウミネコの繁殖地)・・・赤岩展望台(国内唯一のオロロン鳥の繁殖地)・・・千鳥ヶ浦園地(焼尻島の展望)・・・海鳥観察舎・・・観音岬展望台(断崖絶壁の眺め)・・・宿または天売港 ●歩程:約3時間 終了後、船の出発時間まで各自昼食(フリータイム)。 天売島 13:20 発 ~ 〈高速船〉 ~ 焼尻島 13:35 着 着後、宿に荷物を預けて焼尻郷土館(道指定有形文化財)見学。 その後、フリータイム。ご希望があればツアーリーダーが島の森めぐり(オンコの荘、ウグイス谷など)にご案内します(1~2時間)。 【焼尻島・泊】	朝 — 夕
6/12 (水)	焼尻島一周 ウォーキング 焼尻島 羽幌港 羽幌 札幌駅	焼尻島一周ウォーキング(またはサイクリング)/・・・工兵街道・・・オンコ海道(山野草やめん羊を見ながらの和やかな道)・・・鷹の巣園地(目前に天売島)・・・白浜海岸・・・アザラシ上陸地(双眼鏡があると便利)・・・宿または焼尻港 ●歩程:約3時間 終了後、船の出発時間まで各自昼食(フリータイム)。 焼尻島 13:45 発 ~ 〈高速船〉 ~ 羽幌港 14:20 着 羽幌港に着後、バス出発時間までフリータイム。見頃のはぼろバラ園や北海道海鳥センターの見学、はぼろ温泉サンセットプラザ入浴などの時間が有ります。 羽幌 BT 17:00 発 = 〈都市間バス〉 = 札幌駅 BT 20:15 着	朝 — —

- ※交通/ = :公共交通(バスなど) BT:バスターミナル
- ※行程表に記載の公共交通機関(バス・高速船)の発着時刻は 2023 年度の同時期のものを参考にしています。2024 年度は多少時刻が変更となる可能性があります。
- ※歩程は休憩時間を除いた実質歩行時間の目安です。当日の天候、道の状況、歩くペースなどにより前後します。
- ※天候や時間によりコースを変更、割愛する場合があります。特に島では悪天候で船が欠航となり、島内に停滞となる場合も考えられますので日程に余裕を持ってご参加下さい。
- ※昼食、行動食は各自となります。概ねウォーキング終了後、島内の飲食店などで食べる時間があります。両島とも島内にコンビニはありませんが、売店はあります。
- ※体調不良、疲労などにより、一周ウォーキング途中でのエスケープは可能です。その場合に生じる移動交通費はご自身のご負担となりますので、あらかじめご了承下さい。



天売島を望む鷹ノ巣園地(焼尻島)



ヒナに与える魚をくわえて帰巣するウトウ(天売島)



オロロン鳥の繁殖地・赤岩(天売島)

●写真提供/羽幌町観光協会

天売島・焼尻島 自然探訪 持ち物リスト

	品名	数量	チェック	備考
1	ウォーキングシューズ	1組	○	普段履き慣れている運動靴やハイキング靴など。移動時や観光の靴と兼用にしてもいいでしょう。
2	タウンシューズ	1組	△	観光や移動時に。運動靴やスニーカーなど。
3	旅行かばん(中)	1個	○	バスの荷物室や宿に預ける荷物入れ用。バッグやスーツケースでも良い。
4	ナップサックまたはショルダーバックまたはベルトポーチ	1個	○	ウォーキング時に手荷物を入れるバッグ。両手がフリーになるザックタイプがおすすめです。車内持ち込み兼用にしてもいいでしょう。
5	雨具(上)	1着	○	薄手で良いので登山用の雨具を念のため携行して下さい。天気が良ければ、ホテルに置いていけます。コースによっては傘で歩けますが、あれば防寒着としても活用できます。
6	セーター(防寒着)	1着	○	6月の道北の島は朝夕冷えます。海風が強く体感温度が下がることも有るので、乾きの早いフリースジャケット、薄手のダウンなど防寒着は必ずご用意下さい。
7	衣類(着替え)	適数	○	長袖シャツ、スラックス、下着、靴下、着替えなど。
8	日除け帽子	1個	○	強い日差しを遮るため、つばのある帽子が良いでしょう。
9	サングラス	1個	△	晴れだと日差しを遮る高木などは無いので眩しいです。紫外線から目を保護するために。
10	手袋	1組	○	日除け用または防寒用に薄手のものをご用意ください。
11	水筒(テルモス)	1個	○	容量500~750ml程度。市販のペットボトルでも可。温かい飲み物を持ちたい方はテルモス(魔法瓶)も重宝します。
12	洗面用具	適数	○	作務衣、タオル、バスタオル、歯ブラシ、シャンプー類は宿泊するホテルに部屋のアメニティとして付いています。
13	筆記用具	適数	○	メモ帳やボールペンなど。
14	財布・クレジットカード	適数	○	クレジットカードは便利です。保管に気をつけましょう。
15	携帯電話	1個	○	緊急の連絡時にお持ち下さい。
16	双眼鏡	1個	○	天売島での海鳥ウォッチ、焼尻島でのトド上陸地など、動物観察にすると便利です。
17	折り畳み傘	1本	○	ほとんど整備された道を歩くので、雨天では必携です。
18	ヘッドライトまたは懐中電灯	1個	○	ウトウの帰巣ツアーの際、暗い足元を照らすのに便利。
19	日焼け止め	適数	△	強い紫外線と乾燥から肌を守るために。リップクリームも。
20	ストック(杖)	1組	△	普段、山歩きに使用している方はあれば安心。不要な日はホテルに置いていけます。伸縮式が便利です。
21	医薬品	適数	△	マスクや持病用の特別な薬など各自ご用意下さい。
22	カメラ・ビデオ	適数	△	予備電池、充電装置も忘れずに。
23	嗜好品・おやつ類	適数	△	移動途中の羽幌港や島内の雑貨店で調達可能ですが、種類や数が限られます。普段愛用している行動食などあれば事前にご用意下さい。

○=必要なもの △=あると便利なもの ※あくまでご参考にしてください